

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句
令和元年六月度 入選句（投稿総数二千五百七十七句・一般投句数六百二十六句）

特選

祭髪結つた迷子を預かりぬ

兵庫県神戸市 岸下 庄二

夏祭りのイベント会場であろうか、大勢の人でごった返している。当然迷子も出る。祭の本部に連れてこられた小さな女の子。髪をアップに結い上げた祭髪のスタイル。そのかわいらしさに思わず微笑む。でも親を早く見つけてあげないといけない。その戸惑いの様子が伝わってくる。

チャーハンのでっぺん小さき鯉のぼり

養老郡養老町 山田 順子

端午の節句、こどもの日は子供が力強く健康に成長することを願って大空に鯉幟を掲げる。お子様ランチを注文すると、子供の好む食物を見て楽しいように盛り付け、小さな旗や玩具もいっしょに飾られて出てくる。チャーハン・でっぺん・鯉のぼりと焦点が絞っていかれ、リズムの良い句である。

母いつも何かしてゐる母の日も

大垣市 村田 通夫

母の日は母に感謝する日。五月の第一日曜日に当てる。
一家の主婦はいろいろな家事や子供の世話などで一日中忙しい。高年になっても身体を使って何かをしている。今日ぐらいゆつくりしたらと家族に言われても、じつとしている方が落ち着かないらしい。母に感謝感謝である。

秀逸

公園の木々のおしやべり五月晴	大垣市	岩田 唯志
武者飾りいがぐり頭撫でてやる	大垣市	吉田 てるみ
落ちひばり大草原に吸い込まれ	不破郡垂井町	吉野 君美
いい顔の集まってくる白あじさい	東京都北区	菱沼 多美子
淋しげなふらこちよっと乗ってみる	大垣市	栗山 佳子
初鱧はやも徳利の二本空く	養老郡養老町	田中 紫香
留守がちな村の交番雀の巢	大垣市	日比野 友子
海の辺の潮の匂ひの茅の輪かな	愛知県名古屋市	舘野 茂子
螢火やあの日あの声あの言葉	大垣市	高木 歌佐
母のもの一つ身に着け花衣	静岡県藤枝市	山本 紫苑

入選

盆梅展百鉢百の名のありて	不破郡垂井町	中西弘子
駅前が登山口なり桐の花	東京都世田谷区	関戸信治
歎びが背ナにあふるる入学児	大垣市	高瀬鈴子
副作用いや違うこれは目借時	大垣市	永江美佳
老鶯や番所名残りの鬼瓦	福井県敦賀市	山田美千代
野仏の花もたわわに暮の春	岐阜市	木田由美
今寿なり家族そろいて劔汁	大垣市	松永勝二
後髪ぎゅつと結ぶや夏来る	安八郡神戸町	大槻恭子
風止みていねむりのごと鯉のぼり	大垣市	安田むつこ
勝手口風もて遊ぶ夏暖簾	安八郡神戸町	早津郁男

入選

樽と風の音のみ水嶺湖	三重県三重郡	進士順子
筍の青き風みゆ猪目窓	本巢市	小泉裕子
枕辺にならぶ医学書梅雨湿り	養老郡養老町	田中秀子
橋は人落ち合ふところ若葉風	安八郡神戸町	森瑞穂
木偶の書く令和元年夏祭り	大垣市	澤井国造
蝶々追い蝶々を唄う三歳児	京都府宇治市	椎原園美
明治なほ熱く語りて夏帽子	大垣市	新町恵子
裏表ひかり違へて竹落葉	大垣市	小林研
にらめっこしよ動いて駄目よあめんぼう	大垣市	高橋柳邦
滑り台初夏の光も滑らせて	大垣市	高田雅章

選者吟

ビューティフルハーモニーなる令和初夏

武直